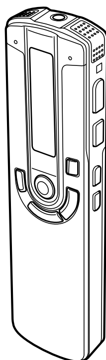
取扱説明書

SANYO

FM 付ステレオデジタルボイスレコーダー
品番　ICR-RS175M

保証書付

お買い上げいただきましてありがとうございました。
正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は"いつでも見られる所"に大切に保管してください。
なお、この取扱説明書は"保証書付"になっています。保証書は「お買い上げ日」、「販売店」などの記入を必ず確かめ、販売店よりお受け取りください。



お客さまメモ

お買い上げの際にご記入ください。
お問い合わせの時などに便利です。

品　番	ICR-RS175M
お買い上げ日	年　　月　　日
お買い上げの販売店名	電話（　　）　　－

もくじ

はじめに

基本操作

応用操作

その他

基本操作ガイドについて

すぐにご使用になりたい方は、基本操作ガイドをご参照ください。ただし、4ページ「安全上のご注意」および、10ページ「付属品の確認」は必ず最初にお読みください。

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

安全のため必ずお守りください。

■絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 **警告**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 **注意**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例

	「注意(警告を含む)をうながす事項」を示します。
	「してはいけない行為(禁止事項)」を示します。

本体について



■ 分解・改造しない


分解禁止

本機を分解、改造しないでください。
火災、感電の原因となります。内部の点検および修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

■ 運転中は使用しない


禁止

自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因になります。
また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に十分にご注意ください。

■ 内部に水や異物を入れない、また風呂やシャワー室で使用しない

水場禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因になります。
万一、水や異物が入ったときは、乾電池を抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。

■ 大音量で長時間続けて聞きすぎない


禁止

ヘッドホンで聞くときに耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがありますのでご注意ください。
また、突然大きな音がでて耳を痛めることがありますのでボリュームは徐々に上げるようご注意ください。

■ 極端な温度条件のもとでは使用しない



結露などによる火災や感電の原因になります。温度が5℃以下、または35℃以上の場所では使用しないでください。

■ 置き場所に注意



湿気、ほこりの多い場所や、油煙、湯気が当たる場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
また、窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など温度が高くなる場所に放置しないでください。火災、故障の原因となることがあります。

乾電池について

⚠ 注意

■ 乾電池は正しく入れる



乾電池を入れるときはプラスとマイナスの向きに注意し、表示通りに入れてください。間違えると乾電池の破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚損することがあります。

■ 乾電池は充電しない



乾電池は充電しないでください。乾電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となります。

■ ショートさせない



ネックレスなどの金属物といっしょにしないでください。乾電池の液漏れや、発熱、破裂の原因になります。

■ 長時間入れたままにしない



長時間(1週間程度)使用しないときは乾電池を取り出しておいてください。乾電池からの液漏れにより、火災、けが、周囲を汚損する原因となります。

■ 録音内容を消去するときは、電池残量を確認する



録音内容を消去するには電池残量表示を確認してください。消去の途中で電源が切れると、録音内容は消去できません。

乾電池が液漏れしたとき

液が本体内部に残ることがありますので、当社にご相談ください。液が目に入ったときは、失明の原因になりますので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、ただちに医師に相談してください。液が身体や衣服についたときも、やけどなどの原因になりますので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症などの症状がでたときには、医師に相談してください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

著作権について

放送やMD、CD、レコード、その他の録音物の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。

あなたが録音したものは個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。

必ずお読みください

本機の使用中、万一何らかの不具合により、録音の失敗および録音内容（データ）の損失を防ぐために

1.録音前には必ず試し録音をしてください。

2.録音データを他の機器にバックアップしてください。

本機の使用中での不具合によるデータ損失や機会損失などの補償については、当社では責任を負いかねます。
また、修理でのデータ消去を伴う事項が発生しても補償については、当社では責任を負いかねます。 あらかじめご了承ください。

登録商標についての注意

- IBMおよびPC/ATは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- Microsoft、Windows Media™およびWindows® ロゴは米国およびその他の国における米国Microsoft Corporationの商標または登録商標です。
- Windows Media™ PlayerはMicrosoft Corporationの商標または登録商標です。

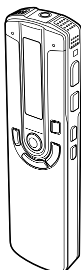


- その他、本書で登場するシステム名、製品名は一般に各開発メーカーの商標あるいは登録商標です。なお、本文中では™、® マークは明記していません。

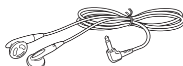
付属品の確認

箱から出し、付属品がそろっているか確認してください。

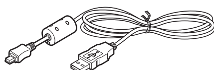
● ステレオデジタルボイスレコーダー本体 ... 1



● インナーイヤー型ステレオヘッドホン(FMアンテナ兼用) 1



● 専用USB接続ケーブル 1



● 単4形アルカリ乾電池 2
● 本書（保証書付） 1
● 基本操作ガイド 1



ちょっとこれを！

操作に慣れるまでは、音声ガイドONの状態でのご使用をお薦めします。各種設定が音声で確認できます。（出荷時はONに設定されています）詳しくは、60ページ各種メニューの設定「BEEP音設定」参照。

主な特長

1 128MBメモリ内蔵で高音質長時間録音可能!

● MP3音声データで、約17時間10分(録音モードがLP時)の高音質録音が可能です。録音モードについては21ページの「録音時間について」を参照。

● 内蔵のステレオマイクでステレオ録音ができます。

● WMA(Windows Media Audio)の再生ができます。

2 パソコンと接続可能!

● USBドライバ不要で、簡単にパソコンに接続できます。
(Windows98/98SEは専用USBドライバのインストールが必要となります。→64ページ「USBドライバのインストール」参照)

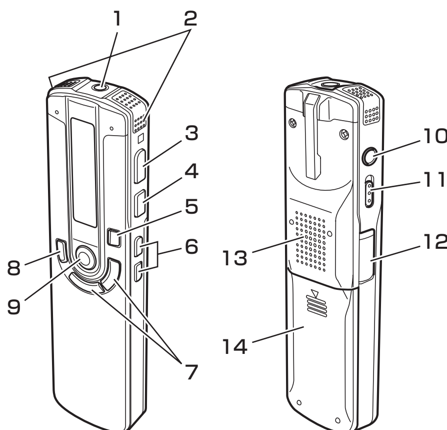
● フロッピーディスクなどの代わりとしてパソコンデータの一時保存にも使えます。

● 本機で作成した音声ファイルはパソコンで再生できます。
(MP3が再生可能なWindows Media Playerなどのソフトウェアをインストールする必要があります。)

各部のなまえ

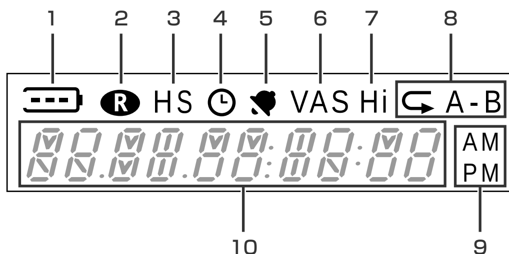
くわしくは、(　)内のページをご覧ください。

本体



1. **ステレオ外部マイク**端子(15ページ)
2. 内蔵ステレオマイク
3. **電源/再生/一時停止/Pメモリ**(▶/II)ボタン(16,41ページ)
4. **停止/メニュー**(■)ボタン(18ページ)
5. **消去/MO/ST**ボタン(35,36,47ページ)
6. **スキップ/サーチ**(I◀◀, ▶▶I)ボタン(32ページ)
7. **音量+/−**ボタン(20ページ)
8. **フォルダ/リピート/FM**ボタン(24,38ページ)
9. **録音/録音一時停止**ボタン(25ページ)
10. **ヘッドホン**端子(15, 26ページ)
11. **ホールド**スイッチ(17ページ)
12. **USB**端子(69ページ)
13. スピーカー
14. 電池ぶた(14ページ)

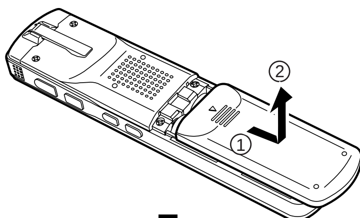
液晶パネル

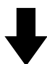


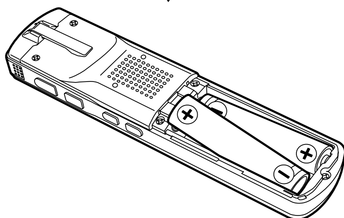
1. 電池残量
2. 録音表示
3. 録音モード
4. タイマー
5. アラーム
6. VAS(音声起動録音)
7. マイク感度
8. リピート/A-Bリピート
9. AM/PM
10. 各種情報表示

乾電池の入れ方

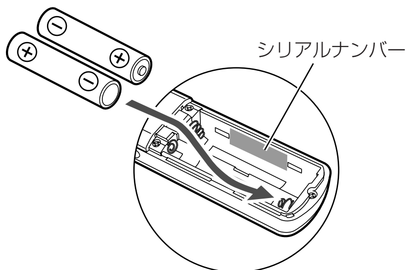
●乾電池ぶたの開け方





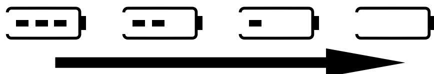


●乾電池の入れ方



電池残量表示

電池残量は、液晶パネルの電池残量表示で確認してください。



"Lo bAT"表示後　液晶パネル表示消灯 →電池切れ

電池残量表示が ▭ を点灯したら

新しい単4形アルカリ乾電池に交換してください。

ご注意

- 乾電池は、温度が5℃～35℃の環境でご使用ください。特に、夏の車内には放置しないでください。
- 使いきった乾電池は各地方自治体の指示(条例)に従って処分してください。
- 録音中、録音一時停止中、再生中、再生一時停止中、消去中、フォーマット中に乾電池を抜くと、ファイルが壊れる可能性があります。
- 録音中、録音一時停止中に乾電池を抜くと、録音内容は保存されません。
- 付属の乾電池はモニタ用ですので、寿命が短いことがあります。

ヘッドホン(付属品)を使用する

ヘッドホン端子に差し込んでください。A、b、C、d、Mフォルダ選択時、ヘッドホンを差し込むと、スピーカーから音は出ません。また、ヘッドホンはFM受信時のアンテナも兼ねています。

ステレオ外部マイク(別売品)を使用する

ステレオ外部マイク端子に差し込んでください。ステレオ外部マイクを差し込むと、内蔵マイクははたらきません。
(注文番号:645 056 9692)

操作前準備

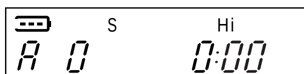
電源を入/切にする

再生/一時停止ボタンを押します。

＊ 録音ボタンかフォルダ/リピートボタンを押しても電源が入ります。



“HELLO”と表示され、電源が入り、電源を切る前に選択していたファイル番号と再生総時間が表示されます。（レジューム機能）



再度**再生/一時停止**ボタンを2秒以上押すと、“-bYE-”と表示され、電源が切れます。

オートパワーオフ機能

● A、b、C、d、Mフォルダ選択時、停止状態で約15分間放置しておくと、自動的に電源が切れます。

● 録音一時停止中に、約15分間放置しておくと、録音していたファイルを作成した後、電源が切れます。

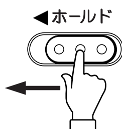
レジューム機能

電源を切る前に選択していたファイル番号と、再生を停止させた位置を記憶しています。次に電源を入れたときは同じ位置で停止していますので、続きから再生を開始することができます。フォルダを切り替えるか、パソコンと接続するか、本機の電池を抜くとレジューム機能は解除されます。

誤動作を防止する（ホールド機能）

録音または再生中などに誤ってボタンを押し、動作を中断してしまうことを防ぎます。

1

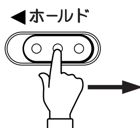


ホールドスイッチを矢印の方向に切り替える

HOLd On

- "HOLd On"と表示され、ホールド機能がはたらきます。
- ホールド機能中に、操作ボタンを押すと、"HOLd On"と表示されるだけで各ボタンは機能しません。

2



ホールドスイッチを矢印の反対方向に切り替える

HOLd OFF

- "HOLd OFF"と表示され、ホールド機能が解除されます。



ちょっとこれを！

本機をかばんやポケットに入れているときやFM放送を聞いているときは、誤操作を防止するためにホールド機能をオンしておくことをおすすめします。

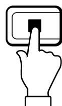
ビープ音・音声ガイドの有無を選択する

ボタンを押したときのビープ音・音声ガイドの有無を選択できます。初期設定では音声ガイドがONになっています。60ページ「各種メニューモードの設定-BEEP音設定」参照。全データを消去すると音声ガイドも消去されますのでご注意ください。49ページ参照
以降 『』は音声ガイドON時の音声です。

日時を設定する

録音を開始する前に、日時の設定をおこなってください。

1



停止状態で停止/メニューボタンを2秒以上押す

『ファイル分割モードです』

● メニュー画面が表示されます。

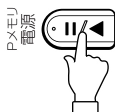
2

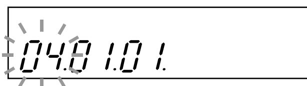


スキップ/サーチボタンを押して、"dATE TIME"を表示させる

『カレンダ設定モードです』

3　再生/一時停止ボタンを押す



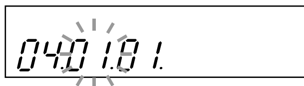


● 時刻設定画面が表示されます（西暦表示が点滅しています）。

4　スキップ/サーチボタンを押して、西暦を設定し再生/一時停止ボタンを押す





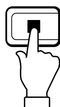


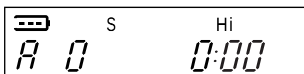
● 西暦が決定し、次の月表示が点滅します。

● 同様の操作で、月、日、12/24時間表示、時、分を設定してください。
「日」を設定すると時間の設定画面に切り替わり、「分」まで設定すると"dATE TIME"の表示に戻ります。

『カレンダ設定しました』

5 停止/メニューボタンを押す

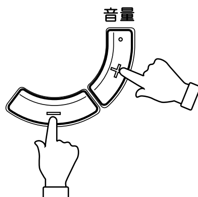


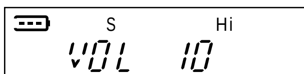


- 日時が設定され、元の停止状態に戻ります。
- 停止状態で**停止/メニュー**ボタンを押すと、現時刻が表示されます。

音量を調節する

- 録音・再生・停止中に**音量＋/−**ボタンを押すと、下の画面が表示され音量を調節することができます。





- 音量レベル0〜20の範囲で調節できます。

録音する

風の強いところなど、環境によって録音状態が変わります。必ず事前に試しに録音して正常に録音されることを確認してください。

録音時間について

録音可能時間は録音モード(音質レベル)によって変化します。録音モードには、ハイクオリティスーパーモード・ハイクオリティモード・スタンダードモード・ロングモードの4種類があり、初期設定ではスタンダードモードになっています。

録音モードと録音可能時間の関係を以下に示します。

録音モード	録音可能時間
HS(ハイクオリティスーパーモード)	約2時間00分
HQ(ハイクオリティモード)	約4時間10分
SP(スタンダードモード)	約8時間30分
LP(ロングモード)	約17時間10分

音質を優先される場合はHS、通常の場合はHQまたはSP、録音時間優先の場合はLPをお選びください。

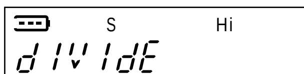
HS・HQ・SP選択時はステレオ録音、LP選択時はモノラル録音になります。

1 録音モードを選択する

1 停止状態で停止/メニューボタンを2秒以上押す



『ファイル分割モードです』

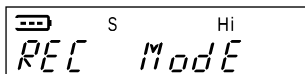


● メニューモードに切り替わります。

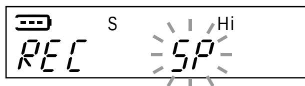
2 スキップ/サーチボタンを押して、"REC ModE"を表示させる



『録音設定モードです』



3 再生/一時停止ボタンを押す



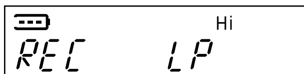
● 録音モード選択状態になります。（現在選択されている録音モードが点滅しています。）

4

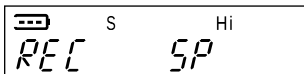


スキップ/サーチボタンを押して、任意の録音モードを表示させる

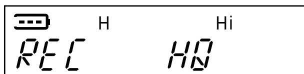
ロングモード



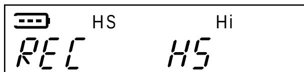
スタンダードモード



ハイクオリティモード



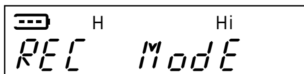
ハイクオリティスーパーモード



5



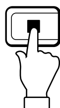
再生/一時停止ボタンを押す



- 録音モードが確定し、“REC ModE”の表示に戻ります。

『○○モードに設定しました』

6



停止/メニューボタンを押す



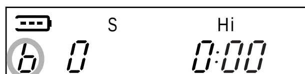
- 元の停止状態に戻ります。

基本操作

② 録音するフォルダを選択する



フォルダ/リピートボタンを押して、録音するフォルダ(A、b、C、d、M)を選択する



- A、b、C、d、FM、Mが切り替わります。
- Mフォルダはミュージックフォルダですので、通常のボイスデータは録音できません、自動的にAフォルダに録音されます。
  Aフォルダがいっぱいのときは録音されません。
- FM放送録音時は、自動的にdフォルダに録音されます。

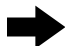
ご注意

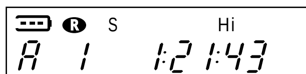
各録音モードの最大録音時間とは別に、**本機で録音できる**最大ファイル数は1フォルダにつき99ファイルとなります。録音残時間が残っていても、100以上のファイルを録音することはできません。100ファイル目を録音しようとすると"FILE FULL"と表示されます。空いているフォルダに切り替えるか、不要なファイルを消去してください。

③ 録音を開始する

録音ボタンを押します。



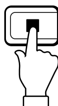


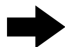


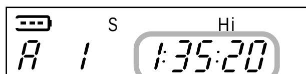
"R"が表示され、録音が開始されます(以降、録音モードはスタンダードモードで説明します)。
現在録音しているファイル番号と録音可能時間を表示します。

録音を停止するには

停止/メニューボタンを押します。







再生総時間

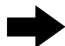
再生総時間が表示され、録音したファイルの先頭に戻ります。

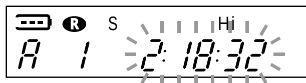
録音を一時停止するには

録音ボタンを押します。

一時停止
録音







録音可能時間が点滅します。
再度**録音**ボタンを押すと、録音が再開します。

録音内容をモニターするには

ヘッドホン端子にヘッドホンを差し込みます。その状態で、22ページからの手順にしたがって録音をすると、録音している内容をヘッドホンから聞くことができます。
(FM放送録音時、音声出力をスピーカーに設定している場合は、スピーカーから音が出ます。)

録音(マイク)感度の設定

本機では録音感度(HI/LO)の設定ができます。
状況に合わせて感度の切り替えをおこなってください。
(59ページ「各種メニューの設定-マイク感度」参照)

ご注意

音量+/−ボタンを押すと、モニター中にヘッドホンから聞こえてくる音量を調節することができますが、ボタンを押す音が録音されてしまう場合があります(外部マイクを使用している場合は、録音されにくくなります)。

VAS:音声起動録音設定について

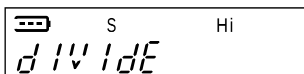
VASとは、ボイスデータ録音状態で音声を感知したときに自動的に録音を開始し、音声が一定のレベル以下になると約3秒後に録音が自動的に一時停止するという機能です。

1



停止状態で停止/メニューボタンを2秒以上押す

『ファイル分割モードです』



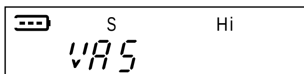
● メニューモードに切り替わります。

2

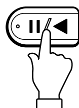


スキップ/サーチボタンを押して、VASを表示させる

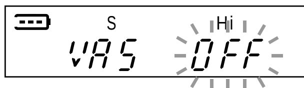
『VAS設定モードです』



3



再生/一時停止ボタンを押す



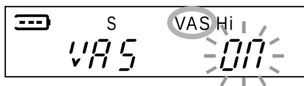
● VAS設定画面を表示します(OFFが点滅しています)。

基本操作

4



スキップ/サーチボタンを押して、“ON”を表示させる



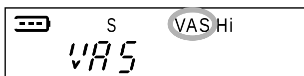
● VASの文字を表示します。

5



再生/一時停止ボタンを押す

『VAS　ONに設定しました』

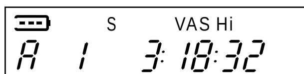


● VAS設定がONになり、VASの表示に戻ります。

6



停止/メニューボタンを押す

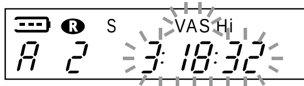


● 元の停止状態に戻ります。

7



録音ボタンを押す



● 録音待機状態になり、音声を感知すると自動的に録音が開始されます。

マイクセンサーの感知レベル

VAS機能をONに設定している場合は、録音中に**スキップ/サーチ**ボタンを押して、マイクセンサーの感知レベルを設定することができます。

VASの感知レベルは「VAS　1～VAS　5」の範囲で、数値が画面表示されます。数値が高い方が小さな音でも起動しやすくなりますが、雑音の多いところでは、逆に録音が止まらない場合があります。ご使用の目的に合わせてレベルを調整してください。

● 小さな音声のときは、この機能が働かない場合があります。

※ 録音中にボタンなどを押すと、その音が録音されてしまう場合がありますので、ご注意ください（外部マイクを使用すると、ボタンを押す音などが録音されにくくなります）。

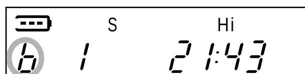
再生する

① 再生するファイルを選択する

1



フォルダ/リピートボタンを押して、再生するファイルが入っているフォルダ(A、b、C、d、M)を選択する

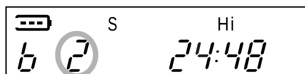


● A、b、C、d、FM、Mが切り替わります。

2

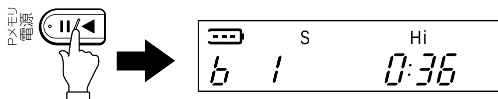


スキップ/サーチボタンを押して、再生するファイルを選択する



② 再生を開始する

再生/一時停止ボタン押します。



再生を開始します。

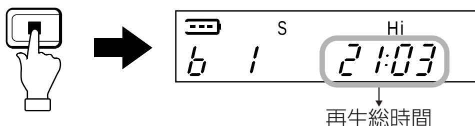
ご注意

- 容量の大きいファイルは、ボタンを押してから動作するまでの時間が少しかかることがあります。ファイル数が極端に多い場合も、ボタンを押してから動作するまでの時間が少しかかる場合があります。
- MP3、WMAファイルによっては、再生時間表示と実際の再生時間が異なる場合があります。
- MP3、WMA形式のファイルでも、本機で正常に再生できない場合があります。

基本操作

再生を途中で停止するには

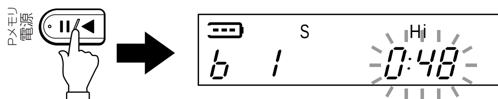
停止/メニューボタンを押します。



再生していたファイル番号と再生総時間が表示されます。

再生を一時停止するには

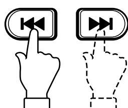
再生/一時停止ボタンを押します。



現在再生しているファイルの再生経過時間を点滅します。
再度**再生/一時停止**ボタン押すと、再生を再開します。

再生を早送り・早戻しするには

再生中に、スキップ/サーチボタン(|◀◀・▶▶|)を2秒以上押します。



現在再生しているファイルを早送り・早戻しします。

■ 早送り(|◀◀)
ファイルの最後まで早送りすると、次のファイルの先頭から早送り再生を続けます。
最終ファイルの早送り再生終了後、停止状態になります。

■ 早戻し(▶▶|)
ファイルの先頭まで早戻しすると、そのひとつ前のファイルの最後から早戻し再生を続けます。
先頭のファイルの早戻し再生終了後、停止状態になります。

早送り・早戻し再生中、ファイルの音声は出力されます(再生一時停止時に早送り・早戻し再生をした場合は、音声は出力されません)。

● **早送り・早戻しは5段階に速度が変わります。**

● **スキップ/サーチボタン(|◀◀・▶▶|)から指をはなします。**

早送り・早戻し再生を解除します。

ファイル送り・戻しするには

再生、再生一時停止または停止中にスキップ/サーチボタン(|◀◀・▶▶|)を短く押します。

リピート機能

リピート機能を使って、ファイルの中の特定の区間を繰り返し再生します。

1



再生中に、リピート再生したい場所の開始地点でフォルダ/リピートボタンを1回押す

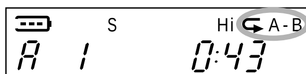


- A地点(リピート開始地点)が決定され、A−を表示します。
- 再生一時停止中にもこの操作は可能です。

2



次に終了地点でフォルダ/リピートボタンをもう1回押す



- B地点(リピート終了地点)を決定し、A−Bを表示します。これで特定の区間(A地点−B地点)をリピート再生します。
- 再生一時停止中にもこの操作は可能です。
- リピート再生中に、**フォルダ/リピート**ボタンを押すと、リピートを解除します。
- A−Bリピート設定中に、A地点決定後、そのまま再生中のファイルの最後まで到達した場合、そのファイルの最後をB地点と決定し、リピートを実行します。

FM放送を楽しむ

本機はFMチューナーを内蔵しており、FM放送を聞いたり録音したりすることができます。

- テレビの1～3チャンネルの音声も受信できます。
- ヘッドホンがアンテナの役割をしますので、**ヘッドホン**端子にヘッドホンを差し込んでください。**差し込まなければ放送を受信できません。**

選局方法について

本機では3つの方法で選局ができます。

エリアバンド選局：(36ページ参照)

札幌(北海道地区)、仙台(東北地区)、東京(関東地区)、名古屋(中部、北陸地区)、大阪(近畿地区)、広島(中国、四国地区)、福岡(九州地区)あるいはJR(JR車両内※)でご使用になる場合、地域名(エリア)とプリセット番号を選ぶだけで選局します。※新幹線および一部特急列車

アップ／ダウン選局(マニュアルチューニング)：(40ページ参照)

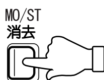
受信したい放送局の周波数に手動で合わせます。

プリセット選局(ユーザープリセット)：(41ページ参照)

ご自分でプリセット(プログラム)した放送局を選局するときに使います。24局までプリセットできます。

ヘッドホン／スピーカー　音声出力切り替え

FM選択時、**消去**ボタンを2秒以上押すと、音声出力をヘッドホンかスピーカーで切り替えることができます。



ヘッドホン出力

HP OUT

スピーカー出力

SP OUT

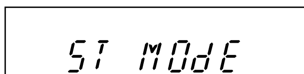
基本操作

FMステレオ放送の受信について

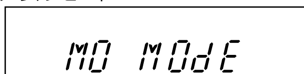
消去ボタンを押すたびに、ステレオモードとモノラルモードが交互に変わります。ステレオモード時にFMステレオ放送を受信すると、自動的にステレオになります。



ステレオモード



モノラルモード

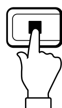


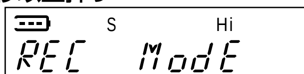
- 受信状態が悪いとステレオにならないことがあります。この場合、モノラルモードにすると、ステレオにはなりませんが聞きやすくなります。
- 他の周波数を選ぶと、モノラルモードは自動的に解除され、ステレオモードになります。
- FM文字放送には対応していません。

エリアバンド選局

エリア(7地区＋JR)別に主な放送局の周波数がすでに登録(プリセット)されています(39ページをご参照ください)。本機をお使いになる地域(エリア)に合わせてエリアバンドを切り替え、希望の放送局のプリセット番号を選ぶと放送を選局します。(工場出荷時は大阪に設定されています。)

1 **停止状態で停止/メニューボタンを2秒以上押す**



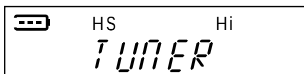


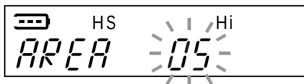
- メニューモードに切り替わります。

2 スキップ/サーチボタンを押して、“TUnER”を表示させ、再生/一時停止ボタンを押す







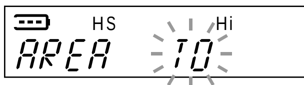



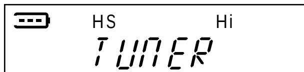
- エリア選択画面を表示します(大阪を示す“OS”が点滅しています)。

3 スキップ/サーチボタンを押して希望のエリアを表示させ、再生/一時停止ボタンを押す

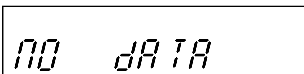






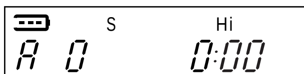



- 札幌”SA”⇔仙台”SE”⇔東京”TO”⇔名古屋”nA”⇔**大阪”OS”**⇔広島”HI”⇔福岡”FU”⇔JR車両内”JR”⇔ユーザエリア”USER”⇔プリセット初期化”PRST CLR”⇔札幌”SA”の順にエリアが切り替わります。
- ユーザプリセット局が未登録の時に”USER”を選択しようとすると下記表示が出て選択できません。



4 停止/メニューボタンを押す

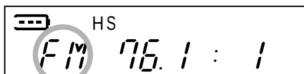




● 元の停止状態に戻ります。

5 フォルダ/リピートボタンを押して、FMを選択する

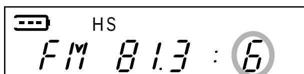




● A、b、C、d、FM、Mが切り替わります。

6 スキップ/サーチボタンを押して、希望のプリセット局を選局する



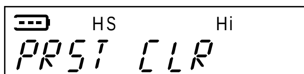


● 周波数表示の横の数字が+/−します。

プリセットの初期化(PRST CLR)

ユーザプリセット情報(41ページ参照)を消去したい場合やプリセットの設定を工場出荷時の状態に戻したいときは、エリアバンド選局にて"PRST CLR"を表示させて**再生/一時停止**ボタンを押してください。工場出荷時の大阪に設定されます。





エリアバンドプリセット一覧

札幌(SA)

FM放送	
1 FM北海道	80.4 MHz
2 FMノースウェーブ	82.5
3 NHK-FM札幌	85.2
TV放送	
4 北海道放送	1 ch
5 NHK総合	3

仙台(SE)

FM放送	
1 FM岩手	76.1 MHz
2 FM仙台	77.1
3 FM青森	80.0
4 FM山形	80.4
5 FM福島	81.8
6 NHK-FM仙台	82.5
7 FM秋田	82.8
TV放送	
8 東北放送	1ch
9 NHK総合	3

東京(TO)

FM放送	
1 FMインターウェーブ	76.1 MHz
2 放送大学	77.1
3 FMサウンド千葉(bayfm)	78.0
4 FM埼玉(NACK 5)	79.5
5 東京FM	80.0
6 FMジャパン(J-WAVE)	81.3
7 NHK-FM東京	82.5
8 FM富士	83.0
9 FM横浜	84.7
10 FM群馬	86.3
TV放送	
11 NHK総合	1 ch
12 NHK教育	3

名古屋(nA)

FM放送	
1 FM福井	76.1 MHz
2 FM名古屋	77.8
3 FM三重	78.9
4 FM静岡	79.2
5 FM長野	79.7
6 FM石川	80.5
7 FM愛知	80.7
8 NHK-FM名古屋	82.5
9 FM富山	82.7
TV放送	
10 東海テレビ	1ch
11 NHK総合	3

大阪(OS)

FM放送	
1 FM CO·CO·LO	76.5MHz
2 FM滋賀	77.0
3 FM802	80.2
4 NHK-FM京都	82.8
5 FM大阪	85.1
6 NHK-FM神戸	86.5
7 NHK-FM大阪	88.1
8 FM京都(α-STATION)	89.4
9 FM兵庫(Kiss FM)	89.9
TV放送	
10 NHK総合	2ch

広島(HI)

FM放送	
1 FM山陰	77.4 MHz
2 FM広島	78.2
3 FM香川	78.6
4 FM山口	79.2
5 FM愛媛	79.7
6 FM徳島	80.7
7 FM高知	81.6
8 NHK-FM広島	88.3
TV放送	
9 NHK総合	3ch

福岡(FU)

FM放送	
1 FM中九州	77.4 MHz
2 FM佐賀	77.9
3 FM九州	78.7
4 FM長崎	79.5
5 FM鹿児島	79.8
6 FM福岡	80.7
7 FM宮崎	83.2
8 NHK-FM福岡	84.8
9 FM沖縄	87.3
10 FM大分	88.0
TV放送	
11 九州朝日放送	1 ch
12 NHK総合	3

JR車両内(JR)

※新幹線および一部特急列車

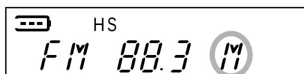
FM放送	
1	76.0 MHz
2	76.6
3	77.5
4	78.8
5	79.6

アップ/ダウン選局(マニュアルチューニング)

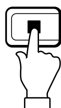
プリセットされた周波数以外の放送局を聞く場合**スキップ/サーチ**ボタンのどちらかを2秒以上押すと、マニュアルチューニングモードになります。ボタンを押している間は周波数が変化します。周波数の変化はボタンを離すと停止します(**ボタンを押していても一定レベル以上の信号を受信すると周波数変化は停止します**)。

マニュアルチューニングモード

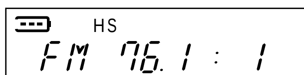




マニュアルチューニングモードで**停止/メニュー**ボタンを押すとプリセットモードに戻ります。このときのプリセット局番号は1番になります。



プリセットモード

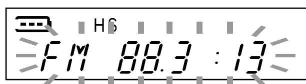


- マニュアルチューニングモードで**スキップ/サーチ**ボタンを短くポンポンと押すと周波数が0.1MHzステップで変化します。
- 選局時、周波数は正しく合わせてください。新聞の番組覧などを利用すると便利です。
- 選局中、受信可能周波数の上限(テレビ3ch)・下限(76.0MHz)に達すると、周波数は下限・上限に移ります。

プリセット選局(ユーザプリセット)

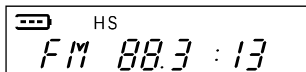
マニュアルチューニングした周波数をプリセット局に追加することができます。
マニュアルチューニングの状態で**再生/一時停止**ボタンを押すと空き局の先頭の番号でプリセットモード表示が点滅します。プリセット局の番号を指定したい場合は、**スキップ/サーチ**ボタンでプリセット局番号を選んでください。





点滅表示は約10秒間無操作もしくは**停止/メニュー**ボタンを押すことによりマニュアルチューニングモードに戻ります。点滅表示中に**再生/一時停止**ボタンを押すことでプリセットが確定し、選んだプリセット局番号でプリセットモードになります。





ユーザプリセットの有効な使い方

エリアバンド選局にて、"USER"を選択すると、ユーザプリセットされたプリセット局番と周波数の情報が上書きされます。

この機能を使うと、例えば、出張などで一時的にエリア選択を変更した場合、ユーザプリセット局の上に他の情報が上書きされてしまいますが、再度通常使用するエリアを選択し、さらに"USER"を選択することで、以前登録したプリセット状態に戻すことができます。

例えば、

1.札幌エリア(プリセット5局)を選択してユーザプリセットを2件作成

1	2	3	4	5	6	7	8	…	24
SA	SA	SA	SA	SA	USER	USER		…	

2.東京エリア(プリセット12局)に切り替え

1	2	3	4	5	6	7	8	…	24
TO	TO	TO	TO	TO	TO	TO	TO	…	

3.再度札幌エリア(プリセット5局)に切り替え

1	2	3	4	5	6	7	8	…	24
SA	SA	SA	SA	SA				…	

4."USER"を選択

1	2	3	4	5	6	7	8	…	24
SA	SA	SA	SA	SA	USER	USER		…	

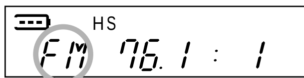
となります。

FM録音

FM放送をフォルダに録音することができます。録音先フォルダは**"d"フォルダ固定となります**(選択できません)。FM録音中の表示は通常の音声録音時と同じです。
(録音モードの設定は22ページを参照してください。)

1 **フォルダ/リピートボタンを押して、FMを選択する**

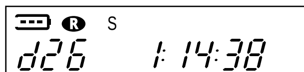




- A、b、C、d、FM、Mが切り替わります。
- 録音を希望する放送局(周波数)を選局してください。

2 **録音ボタンを押す**

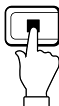




- "R"が表示され、録音が開始されます(録音モードはスタンダードモードで説明しています)。現在録音しているファイル番号と録音可能時間を表示します。

録音を停止するには

停止/メニューボタンを押します。



基本操作

録音を一時停止するには

録音ボタンを押します。



- 録音可能時間が点滅します。再度**録音**ボタンを押すと、録音が再開します。
- 録音一時停止中に、約15分間放置しておくと、録音していたファイルを作成した後、電源が切れます。

ご注意

- **録音**ボタンが押されたときに、ヘッドホン(アンテナ兼用)が差し込まれていないと、下記の表示になり録音を受け付けません。

NO H.P

- 録音中にヘッドホン(アンテナ兼用)が抜かれると、録音一時停止状態になります。再度差し込まれても録音一時停止のままです。録音を再開したい場合は**録音**ボタンを押してください。
- FM録音中の録音内容のモニター音の音質は、録音モードによって変わります。
- FM録音時、VAS機能は働きません。

表示する

停止状態で**停止/メニュー**ボタンを押すと、画面表示が以下のように切り替わります。

現在位置がVOICE(A, b, C, d)フォルダ	
再生対象ファイル有	再生対象ファイル無
再生総時間 1:15:20 ▼ 現時刻 04.01.01. 12:00 ▼ 録音可能時間 REM 2:15:20 ▼ 録音日時 04.01.01. 10:00 R が点滅します	再生総時間 0:00 ▼ 現時刻 04.01.01. 12:00 ▼ 録音可能時間 REM 3:36:03

現在位置がMUSIC(M)フォルダ	
再生対象ファイル有	再生対象ファイル無
再生総時間 4:32 ▼ 現時刻 04.01.01. 12:00 ▼ 再生経過時間 0:32	再生総時間 0:00 ▼ 現時刻 04.01.01. 12:00 ▼ 再生経過時間 0:00

消去する

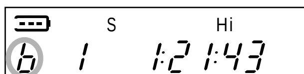
「ファイルを消去する」、「フォルダ内のファイルを消去する」で消去できるのは,本機で再生可能なMP3・WMA ファイルのみです。
他の形式のファイルは消去することはできません。また、MP3・WMA ファイルも再生可能なフォルダに入っていない場合、消去することはできません。

ファイルを消去する

1



フォルダ/リピートボタンを押して、消去するファイルが入っているフォルダ(A、b、C、d、M)を選択する

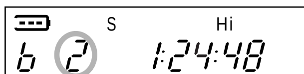


● A、b、C、d、FM、Mが切り替わります。

2



スキップ/サーチボタンを押して、消去したいファイルを選択する



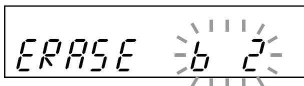
● 次のステップ**3**で消去ボタンを押した後でも、消去するファイルを選択できます。

3



停止状態で、消去ボタンを押す

『ファイルを消去します』



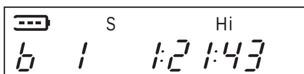
- “ERASE”を表示し、消去するファイル番号と、そのフォルダ名が点滅します。
- このとき**スキップ/サーチ**ボタンを押して、消去するファイルを選択できます。
- 5 秒間放置されると、元の停止状態に戻ります。

4



再度消去ボタンを2秒以上押す

『消去しました』



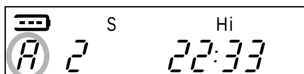
- 選択したファイルが削除され、停止状態に戻ります。
- 表示は消去したファイルの1つ前のファイルを表示します。

フォルダ内のファイルを消去する

1



フォルダ/リピートボタンを押して、消去するフォルダ(A、b、C、d、M)を選択する



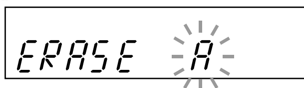
- A、b、C、d、FM、Mが切り替わります。
- 次のステップ**2**で消去ボタンを押した後でも、消去するフォルダを選択できます。

2



停止状態で、消去ボタンを2秒以上押す

『フォルダ内のファイルを消去します』



- "ERASE"を表示し、消去するフォルダ名が点滅します(約5秒間)。
- このとき**スキップ/サーチ**ボタンを押して、消去するフォルダを選択できます。
- 5 秒間放置されると、元の停止状態に戻ります。

3 再度消去ボタンを2秒以上押す



『消去しました』



● フォルダ内のすべてのファイルが削除され、停止状態に戻ります。

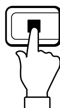
ファイル削除操作を解除するには、**停止/メニュー**ボタンを押します。

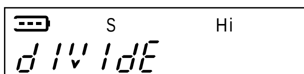
全データを消去する(フォーマットする)

ご注意

フォーマット時は音声ガイドが消去されます。音声ガイドが必要な方は、Guide_JPフォルダをパソコンにバックアップ保存した後、フォーマットしてください。フォーマット完了後は、パソコンに保存しているデータを本機に転送してください。バックアップ保存できない場合は、フォーマットせずに、不要なファイルを1つずつ消去してください。
もしも音声ガイドデータを消失した場合には、61ページを参照してデータをダウンロードしてください。

1 停止状態で停止/メニューボタンを2秒以上押す





● メニューモードに切り替わります。

2 スキップ/サーチボタンを押して、"FRMT"を表示させ、再生/一時停止ボタンを押す



Pメモリ
電源





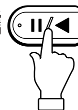


● フォーマット画面を表示します（"OFF"が点滅しています）。

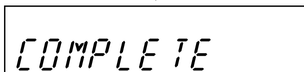
3 スキップ/サーチボタンを押して"On"を表示させ、再生/一時停止ボタンを押す



Pメモリ
電源



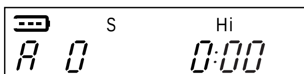




● 「FRMT」→「COMPLETE」が表示され、メモリ内の全データが消去されます。

4 停止/メニューボタンを押す





● 元の停止状態に戻ります。

タイマーを使用する

1 アラームを設定する

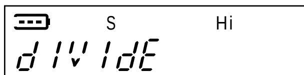
指定時間にお好みのファイルを再生する(またはアラーム音を鳴らすまたはFM放送を聞く)ことができます。お好みのファイルを再生する場合、あらかじめ再生したいファイルをALARMフォルダに入れておいてください(78, 80, 81ページを参照ください)。ALARMフォルダ内にファイルがない場合は、アラーム音を10秒間鳴らします。

1



停止状態で停止/メニューボタンを2秒以上押す

『ファイル分割モードです』



● メニューモードに切り替わります。

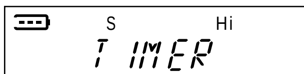
2

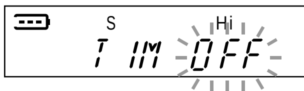


スキップ/サーチボタンを押して"TIMER"を表示させ、再生/一時停止ボタンを押す



『タイマー設定モードです』



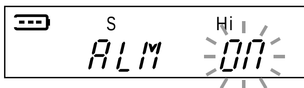


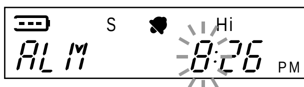
● タイマー画面を表示します("OFF"が点滅しています)。



3 スキップ/サーチボタンを押して"ALM On"を表示させ、再生/一時停止ボタンを押す



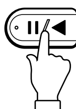


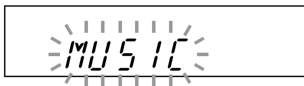


● アラーム時刻画面が表示されます。



4 スキップ/サーチボタンと再生/一時停止ボタンを押して、アラーム時刻の時・分を設定する

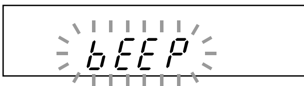


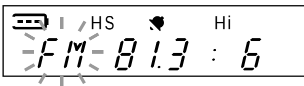


● アラーム音声選択画面が表示されます。



5 スキップ/サーチボタンを押してアラーム音声の種類を選択する





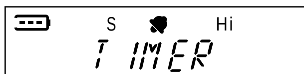
● お好みのファイル(MUSIC)、アラーム音(bEEP)、FM放送の中から選択します。

● FM放送選択時は1度**再生/一時停止**ボタンを押し、再度**スキップ/サーチ**ボタンを押して聞きたいプリセット局番号を指定してください。

6 再生/一時停止ボタンを押して、アラーム設定を確定する



『アラームを設定しました』



● "TIMER"の表示に戻ります。**停止/メニュー**ボタンを押して、元の停止画面に戻ってください。

● MUSICを選択した場合、指定時間になると、ALARMフォルダ内のファイルを再生します。ALARMフォルダ内にファイルがない場合は、アラーム音を10秒間鳴らします。

● FM放送を選択した場合、本機にヘッドホン(アンテナ兼用)を差し込んでおいてください。差し込まれていない場合はアラーム音を10秒間鳴らします。

● FM放送を選択した場合、指定時間になるとスピーカーからFM音声を出力します。但し、指定時間にFM選択状態だった場合は、ヘッドホンからFM音声を出力します。

● FM放送を選択したあと、エリアバンドを切り換えると、指定時間に受信する周波数がアラーム設定時の周波数とは変わりますのでご注意ください。

② 予約録音する

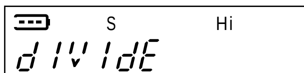
指定時間にボイスデータまたはFM放送の録音を開始することができます。

1



停止状態で停止/メニューボタンを2秒以上押す

『ファイル分割モードです』



● メニューモードに切り替わります。

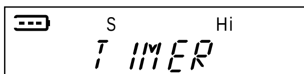
2

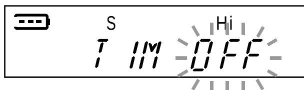




スキップ/サーチボタンを押して"TIMER"を表示させ、再生/一時停止ボタンを押す

『タイマー設定モードです』



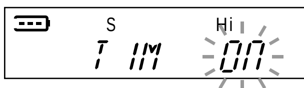


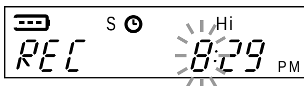
● タイマー画面を表示します("OFF"が点滅しています)。



3 スキップ/サーチボタンを押して"TIM On"を表示させ、再生/一時停止ボタンを押す





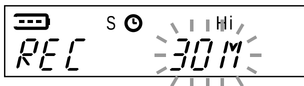


● 予約録音時刻設定状態になります。



4 スキップ/サーチボタンと再生/一時停止ボタンを使って、予約録音時刻を設定する

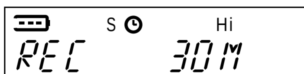




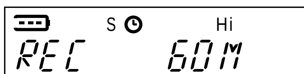
● 予約録音時刻（時、分）を設定し、**再生/一時停止**ボタンを押すと、録音時間設定状態になります。

5 スキップ/サーチボタンと再生/一時停止ボタンを使って、録音時間を設定する(録音時間はおおよその目安となります)

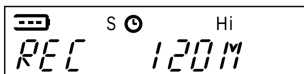
30分



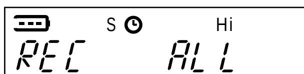
1時間



2時間



ALL*



● 30M、60M、120M、ALL*から選択します。

ALL＊: **停止/メニュー**ボタンを押すか、録音時間がなくなるまで録音します。

ご注意

タイマー録音をするときは、乾電池の残量が十分にあることを確認してください。

6 スキップ/サーチボタンと再生/一時停止ボタンを使って、録音したボイスデータのファイルを作成するフォルダまたはFM録音を選択する

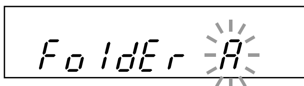




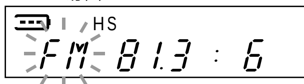


『予約録音を設定しました』

例：フォルダAの場合



例：FMの場合



- A、b、C、d、FMが切り替わります。
- FM選択時は、再度**スキップ/サーチ**ボタンと**再生/一時停止**ボタンで録音したいプリセット局も選択してください。
- ボイスデータの録音フォルダまたはFMプリセット局を選択し、**再生/一時停止**ボタンを押すと、"TIMER"の表示に戻ります。**停止**ボタンを押して、元の停止画面に戻ってください。
- 指定時間になると、録音が自動的に開始され、録音したファイルが指定したフォルダ内に作成されます。**FM録音の場合は"d"フォルダにファイルが作成されます。**

ご注意

5で録音時間にALLを選択したときは、乾電池の残量が十分にあることを確認してください。

各種メニューの設定

共通操作

1. 停止状態またはFM選択時に**停止/メニュー**ボタンを2秒以上押します。
   ● メニュー画面が表示されます。
2. **スキップ/サーチ**ボタンを押して設定したいモードを選択し、**再生/一時停止**ボタンを押すと、それぞれの設定画面が表示されます。
   ● **スキップ/サーチ**ボタンを押して、任意の設定を選択し、**再生/一時停止**ボタンを押すと設定が決定され、メニュー表示画面に戻ります。**停止/メニュー**ボタンを押すと、元の停止画面に戻ります（設定の変更が反映されています）。
   ● 設定中に、**停止/メニュー**ボタンが押された場合、設定をキャンセルして元の停止状態に戻ります。

各種モードと設定できる内容を以下に示します。
※ モードの画面で反転しているのが初期設定値です。

■ dIVIdE（ファイル分割）

ファイル分割機能を活用することにより不要な部分のカットや必要な部分の抽出ができます。

『ファイル分割モードです』

dIVIdE y-n

dIVIdE

- y：現在の停止位置でファイル分割を実行します。
- n：メニュー画面に戻ります。

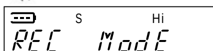
● 録音時間の短いファイルまたはMUSICフォルダ内のファイルはファイル分割できません。

● 分割した部分が前後のファイルで重複します。
重複する時間は…
HS…約1秒，HQ…約2秒
SP…約4秒，LP…約8秒

■ REC ModE（録音モード）

録音モードを設定します

『録音設定モードです』



REC

- **HS**：ハイクオリティスーパーモード
- **HQ**：ハイクオリティモード
- **SP**：スタンダードモード
- **LP**：ロングモード

● 22ページ「録音モードを選択する」参照。

■ MIC ModE（マイク感度）

録音（マイク）感度（高/低）を設定します

『マイク感度設定モードです』



MIC

- **HI**（高感度）
- **LO**（低感度）

基本操作

■ **bEEP(BEEP音設定)**

音声ガイド・警告音(BEEP音)のON/OFFを設定します

🔊『BEEP音設定モードです』



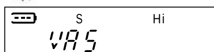
bEEP

- **OFF**:音声ガイド・警告音(BEEP音)を解除します。
- **VS**:音声ガイドを使う時に設定します。
  (※ご注意:フォーマットをすると音声ガイドは消えます。)
- **ON**:BEEP音を鳴らします。

■ **VAS(VAS設定)**

VASのON/OFFを設定します

🔊『VAS設定モードです』



VAS設定

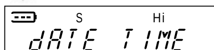
- **OFF**:VAS機能を使用しません。
- **ON**:VAS機能を使用します。

● 27ページ「VAS:音声起動録音設定について」参照。

■ **dATE TIME(カレンダ設定)**

カレンダ設定(年月日・時分)をおこないます

🔊『カレンダ設定モードです』



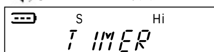
YY、MM、DD、(12/24時間表示)、HH、MM

● 18ページ「日時を設定する」参照。

■ TIMER(タイマー設定)

タイマー再生(ALARM)設定、タイマー録音の設定をおこないます

『タイマー設定モードです』



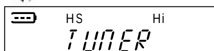
- **OFF**:タイマー設定を解除します。
- **ALM ON→HH:MM→MUSIC、bEEPまたはFM**:設定した時間にALARMフォルダ内のファイル(ALARMフォルダ内の1曲のみ)を再生またはアラーム音10秒またはFM放送を鳴らします。
- **TIM ON**:**→HH:MM→録音する時間→FoldER(録音フォルダ)またはFM**:設定した時間に録音を開始し、設定した録音フォルダ(**FMの場合はdフォルダ**)にファイルを保存します。

基本操作

■ TUnER(エリアバンド選択)

チューナーのプリセット局を使用エリアに合わせて設定します

『FMエリア設定モードです』



AREA

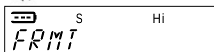
- **SA/SE/TO/nA/OS/HI/FU**:札幌/仙台/東京/名古屋/大阪/広島/福岡
- **JR** :JR車両内 ※新幹線および一部特急列車
- **USER**:ユーザプリセット設定
- **PRST CLR**:プリセットの初期化

● 36ページ「エリアバンド選局」参照。

■ FRMT（フォーマット）

内蔵メモリをフォーマット（全データ消去）することができます

🔊『メモリのフォーマットをおこないます…』



FRMT

・ **OFF**：フォーマットを取りやめます。
・ **ON**：内蔵メモリ中の全データを消去します。

● 49ページ「全データを消去する」参照。

■ SOFT nO（バージョン表示）

ファームウェアのバージョンを表示します

音声ガイドについて

本機を購入されたときに、パソコンに本機のデーターをバックアップ保存してください。または、弊社ホームページ
“http://www.sanyo-audio.com/icr/”
よりICR-RS175Mを選択して音声ガイドをダウンロードしてください。

パソコンに接続して使う

動作環境

本機をパソコンに接続して音楽データを取り込む場合、以下のようなパソコン環境が必要になります。

■ Windows搭載パソコン ■

NEC PC98-NX以外のNEC PC98シリーズ・Macintoshなど、Windowsを搭載していないパソコンでは動作保証いたしませんのでご注意ください。

対応機種	IBM PC/AT互換機
対応OS（日本語版）	Windows XP Professional Windows XP Home Edition Windows 2000 Professional Windows Millennium Edition(Me) Windows 98 Second Edition Windows 98
USBポート	本製品接続時に必要
サウンドボード	Windows®互換の16-bitをサポート
その他	スピーカーまたはヘッドホンが必要

ご注意

- 以下の環境での動作保証はいたしません。
  ーWindows 各OSからのアップグレード環境
  ーWindows 95、Windows NT
  ーWindows 各OSのデュアルブート環境
- 推奨環境すべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- ご利用の環境によっては、スタンバイ、サスペンドなどのモードが正常に動作しない場合があります。その場合は、本機使用時にはそれらのモードを使用しないでください。
- Windows98/98SEは専用USBドライバが必要です。この専用USBドライバはインターネットからダウンロードする必要があります。ダウンロード方法は次のページをご参照ください。

USBドライバのインストール（Windows98/98SEのみ）

ここではお手持ちのパソコンに、Windows98/98SE専用のUSBドライバをインストールする方法を説明します。Windows XP/2000/MEをご使用の場合は、Windows標準ドライバが動作しますので、インストールする必要はありません。

※ 本機を接続したときに「'（ファイル名）' が見つかりません。」と表示された場合、WindowsシステムのCD-ROMを挿入して、必要なファイルをインストールしてください。

1 パソコンの電源を入れ、Windowsを起動する

2 Internet Explorerよりホームページにアクセスする

Internet Explorerを起動させて アドレスのボックスに"**http://www.sanyo-audio.com/icr/**"を入力します。

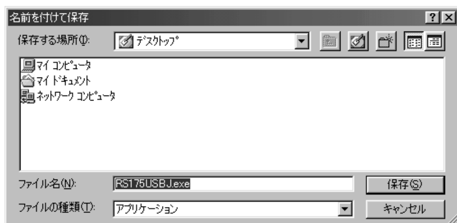
3 ドライバをパソコンにダウンロードする

1. **ダウンロード**をクリックします。
2. ダウンロードページの商品一覧から**ICR-RS175M**を選択して、**Windows 98/98SE 専用ドライバ**をクリックします。
3. **シリアルナンバー**の入力を要求する画面が表示されます。本機の電池ケース内、側面に貼り付けられているシリアルナンバー（14ページ参照）を、**左から8桁まで**入力した後、**[OK]**をクリックします。

4. 下の画面[ファイルのダウンロード]の[保存]をクリックします。



5. つぎに、任意の保存場所を指定し、保存します。



応用操作

④ ダウンロードしたドライバをパソコンにインストールする

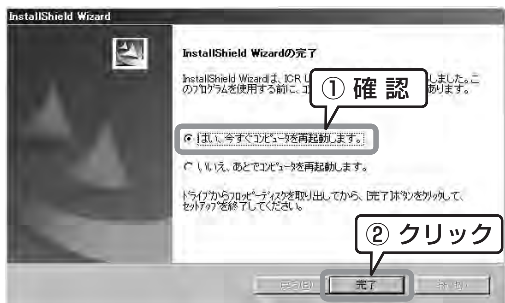
1. **[スタート]** ボタンを右クリックしてエクスプローラを選択します。
2. 任意の場所に保存されたRS175USBJ.exeをダブルクリックします。
3. 画面の指示に従い、**[次へ]**をクリックしてください。



4. 以下の画面が表示されたら、**[完了]**をクリックしてください。



5. インストールが終了すると、以下の画面が表示されます。**[はい、今すぐコンピュータを再起動します。]** が選択されていることを確認し、**[完了]**をクリックしてパソコンを再起動させてください。



これで、USBドライバがインストールされました。

応用操作

USBドライバが正しくインストールされているか、以下の方法で確かめることができます。

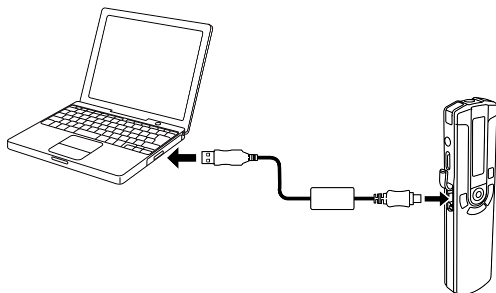
ドライバが正しくインストールされているか確かめるには

1. 本機をパソコンに接続した状態で、以下の確認作業をおこなってください。
   デスクトップ上の**[マイコンピュータ]**を右クリックし、表示されるメニューから**[プロパティ]**を選択して**[システムのプロパティ]**画面を開きます。**[ハードウェア]**タブ内の**[デバイスマネージャ]**ボタンをクリックして**[デバイスマネージャ]**を開きます。
   [ディスクドライバ]と**[ハードディスクコントローラ]**を開いて、下図のように表示されていれば、ドライバが正しくインストールされています。



本機をパソコンに接続する

付属の専用USB接続ケーブルを使用して本機をパソコンのUSB端子につなぐことができます。（下図参照）



ご注意

- USBハブ、またはUSB延長ケーブルをご使用の場合の動作保証はいたしかねます。必ず、付属の専用USB接続ケーブルのみで接続してください。
- パソコンとの接続時、本機に電池がなくても動作します。
- USBコネクタの挿入方向に注意してください。

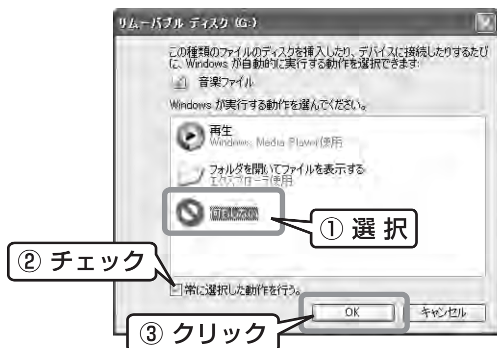
パソコンからUSB 端子に接続した専用USB 接続ケーブルを抜くと電源が切られます。

Windowsが実行する動作を選ぶ

接続後、以下の画面が表示されます(Windows XPのみ)。

Windows98/98SE/ME/2000に関しては、この操作はありません。

(以降、説明で使用する画面はWindowsXPとなります)



お客さまの使用環境に合わせて設定してください。

本書の例では[何もしない]を選択後、**[常に選択した動作を行う。]**にチェックし、**[OK]**をクリックしています。
これで、パソコンとの接続は完了です。

パソコンに接続している間、本機は次ページのような画面になり、どの操作ボタンを押しても反応しません。
本機をパソコンから取り外すときは、71ページの「本機をパソコンから取り外す」の作業を必ずおこなってください。通信表示中は本機をパソコンから抜かないでください。

[パソコン接続時の本機表示]

-PC-

[パソコンとの通信時の本機表示]

PC ACCESS

本機をパソコンから取り外す

本機が通信中の表示になっていないことを確認してから下記の手順に従って取り外してください。

- **Windows98/98SEをご使用の場合、本機をそのままパソコンから取り外してください。**
- **Windows ME/2000/XPをご使用の場合、下記の手順で取り外してください。**
  OSによって若干画面表示が異なりますが、ご了承ください。
  （以降、説明で使用する画面はWindowsXPとなります）

応用操作

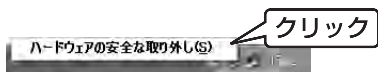
1 [タスクトレイ]のアイコンをクリックする

Windows画面右下の**[タスクトレイ]**のアイコンをクリックします。



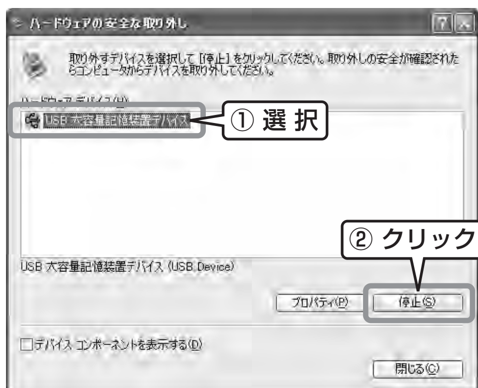
※ アイコンが表示されない場合は、Windowsのヘルプを参照してください。

2 表示された「ハードウェアの…」をクリックする



3 デバイスを選択し、[停止]をクリックする

[USB大容量記憶装置デバイス]を選択し、**[停止]**をクリックします。



④ 停止するデバイスを確認し、[OK]をクリックする

[SANYO IC Recorder USB Device]が一覧内に表示されていることを確認し、**[USB大容量記憶装置デバイス]**を選択して、**[OK]**をクリックします。



本機をパソコンから取り外してください。

エクスプローラでの表示

1 エクスプローラを起動する

本書と同じエクスプローラ画面でご使用になる場合は、以下の方法でWindows XPの**エクスプローラ**を起動させてください。

※ OSのバージョンやメーカーにより、お客さまのパソコン表示画面と本書掲載画面とが一致しない場合がありますが、問題はありません。

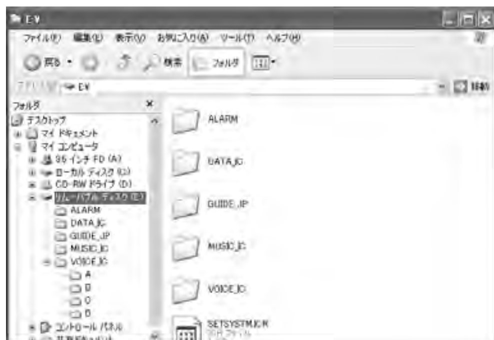
[スタート]メニューから**[マイ コンピュータ]**を右クリックして、表示されるメニューから**[エクスプローラ]**を選択します。



これで、**エクスプローラ**が起動します。

② リムーバブルディスクの表示について

本機をパソコンに接続すると、Windowsのエクスプローラでマイコンピュータ内に、**リムーバブルディスクとして表示**され、内蔵メモリに記録された内容を表示することができます。



[VOICE_ICフォルダ]

本機にて録音したファイルを保存するフォルダです

- 内蔵メモリの**A** フォルダに録音したファイルは、"IC_**A**_XXX(ファイル番号).MP3"というファイル名で、VOICE_ICフォルダ内の**A**フォルダに保存されます。
- b·C·dフォルダについてもそれぞれ同様です。
- A·b·C·dフォルダはそれぞれ最大99ファイルまで保存できます。
- VOICE_ICフォルダ内のファイルは、A〜dフォルダごとに決められたファイル名の規則にしたがっているものだけ再生できます。
  例えば、bフォルダ内のIC_b_001.MP3は、Aフォルダに移動すると再生できません。また、ファイル名を変更すると、そのファイルは本機では再生できなくなりますのでご注意ください。

[MUSIC_ICフォルダ]

パソコンから転送するファイルを保存するフォルダです

- 転送するファイル名はどのようなものでも構いませんが、MP3形式、またはWMA形式のファイルに限ります。
- MUSICフォルダを削除したり、追加した場合に関しては再生順が変わる場合があります。

[DATA_ICフォルダ]

リムーバブルディスクとして、(EXCEL・WORDなどの)データファイルを保存するフォルダです。

[ALARMフォルダ]

アラーム時に再生するMP3/WMAファイルを保存するフォルダです

- ALARMフォルダにファイルがない場合、アラーム音を鳴らします。
- 再生できるファイルは1ファイルのみです。

[GUIDE_JPフォルダ]

音声ガイド(日本語版)を保存するフォルダです。

[SETSYSTM.ICR]

パソコンの設定で隠しファイルが見えるように設定している場合、USB接続をすると、このファイルを見ることができますが、このファイルを削除すると電源を再び入れたときに各設定値が初期化されます。設定値とは、音量・録音モード・再生モード・ビープ音などの設定のことです。

[USERPSET.ICR]

FMのユーザプリセット情報を記憶するファイルです。エリアバンドを"USER"に設定する場合に使用します。

エクスプローラを使ってデータを転送する

74ページ「エクスプローラを起動する」と同様の手順で、エクスプローラを起動します。

1 ファイルを本機に転送する

本機で再生したいMP3ファイルを選択して、リムーバブルディスクのMUSIC(M)フォルダにドラッグ&ドロップします。



② ファイルをパソコンに転送する

リムーバブルディスクのMUSIC(M)フォルダ内のコピーしたいMP3ファイルを選択して、パソコンの任意のフォルダにドラッグ&ドロップします。

ご注意

- ファイルは必ずリムーバブルディスクのMUSIC（M）フォルダ内に入れてください。VOICE（A、b、C、d）フォルダに入れても再生できません。

WMAを本機に転送する際の注意事項

パソコンから本機に転送および再生できないケースとして、以下のものがあります。
- 著作権保護のされている音楽ファイル
- インターネットで購入した音楽ファイル

パソコンから本機へデータの転送・消去をくり返しおこなうと、転送スピードが遅くなることがあります。このような場合には、電源を入れ直してください。

ご注意

- MP3・WMA形式のファイルでも、本機で正常に再生できない場合があります。
- お客さまが転送したMP3・WMA形式ファイルは、個人として楽しむほかは著作権上、権利者に無断で使用することができませんのでご注意ください。

Media Playerを使ってデータを転送する

Windows Media Playerについて

Microsoft Windows Media Playerをインストールしていれば、WMAファイルを本機に転送して聞くことができます。**操作の方法について詳しくは、Windows Media Playerのオンラインヘルプをご覧ください。**

※ OSのバージョンやメーカーにより、お客様のパソコン表示画面と本書掲載画面とが一致しない場合がありますが、問題はありません。

● **Windows Media Playerの入手方法の詳細は**
http://www.microsoft.com/japan/windows/windowsmedia/をご覧ください。

[スタート] メニューから **[すべてのプログラム]** - **[Windows Media Player]**を選択して、Windows Media Playerを起動します。



1. **[デバイスへ転送]**をクリックします。
2. 右側**[デバイス上の項目]**の下のプルダウンメニューから、転送先の**[リムーバブルディスク]**を選択するとファイルが表示されます。表示されない場合は、**[表示]**メニューから**[最新の情報に更新]**を選択してください。
3. 本機に転送したい音楽のチェックボックスにチェックマークをつけます。

4. **[転送]**ボタンをクリックします。

[状態]が、**[転送しています]**から**[完了]**に変わったら、転送完了です。



ご注意

● 転送中は絶対に本機をパソコンから取り外さないでください。

再生順序の指定について

本機では、音楽の再生順序を指定することができます。お手持ちのパソコンにて再生リストを作成して、本機に転送することにより、ご希望の順番に音楽を再生することができます。

以下にプレイリストの作成方法を記述します。

1. お手持ちのパソコンに付属する文章ソフト(メモ帳など)にて例のようなプレイリストを作成します。
   プレイリストの名前は必ず"PLAYLIST.m3u"としてください。



2. Explorerなどで、本機のMUSIC_ICフォルダに転送します。
3. 本機をパソコンから切り離して、本機で再生をおこないます。
   "MUSIC_IC"フォルダにある音楽を再生します。
   音声データの順番を変えることはできません。
   なお本機は、m3uファイルに対応しております。
   一部正しく再生順序を指定できない形式があります。

本機データのフォーマットについて

フォーマットをおこなう場合、必ず本機でおこなうようにしてください。
パソコンでフォーマットをおこなうと、録音が正常にできない場合があります。
フォーマットするには49ページの「全データを消去する」をご覧ください。
パソコンでフォーマットをしてしまった場合は、本機でフォーマットをやり直してください。

故障かな?と思うまえに

販売店にご相談になる前に、下記をお確かめください。なおらない場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。

－どのようなトラブルですか?－

本機が動作しない

原　　因	乾電池が正しく入っていないか、乾電池切れである
解決方法	乾電池が正しく入っていることを確認してください。 一度乾電池を完全に抜いてから、乾電池を正常に入れ直してください。または新しいアルカリ乾電池に替えてください。 14ページ「乾電池の入れ方」参照

原　　因	内蔵メモリが異常である
解決方法	内蔵メモリをフォーマット(初期化)してから、再度録音しなおしてください。 49ページ「全データを消去する」参照

ボタンを押しても反応しない

原　　因	誤動作防止機能(ホールド機能)が設定されている
解決方法	誤動作防止機能(ホールド機能)を解除してください。 17ページ「誤動作を防止する(ホールド機能)」参照

原　　因	USB接続したままである
解決方法	本機をパソコンから外してください。

VOICE(A、b、C、d)フォルダ内のファイルが再生できない

原　　因	ファイル名が異なる
解決方法	パソコン上でファイル名を変更すると、再生できません。ファイル名を"IC_X(フォルダ名)_XXX(ファイル番号).MP3"に戻してください。

音声が聞こえない

原　　因	音量が小さい
解決方法	音量を調節してください。 20ページ「音量を調節するには」参照

MUSIC(M)フォルダ内のファイルが再生できない、または正しく再生できない

原　　因	・ 再生できるファイル形式ではない ・ 著作権保護されている音楽ファイル ・ インターネットで購入した音楽ファイル
解決方法	WMA形式またはMP3形式のファイルをご使用ください。

原　　因	転送先が異なる
解決方法	パソコンからファイルを転送するときに、VOICE(A、b、C、d)フォルダに入れても、本機で再生できません。必ずリムーバブルディスク内のMUSIC(M)フォルダ内に転送してください。 75ページ「リムーバブルディスクの表示について」参照

原　　因	本機で再生できないデータとなっている
解決方法	エンコーダー（MP3･WMA変換)ソフトを別のものに変えてファイルを作成してください。

原　　因	プレイリストに書かれているファイルがMUSIC(M)フォルダ内にない
解決方法	プレイリストからそのファイル名を削除するか、MUSIC(M)フォルダ内にそのファイルを転送してください。

ファイル分割ができない

原　因	ファイルの録音時間が短かすぎる
解決方法	ファイル分割は録音時間の長いファイルでおこなってください。 LP…約32秒以上、SP…約16秒以上、HQ…約8秒以上、HS…約4秒以上

パソコン接続時に、リムーバブルディスクが表示されない

原　因	パソコンと本機が正しく接続されていない
解決方法	本機側のUSBコネクタが正しく最後まで差し込まれているかどうか確認してください。 69ページ「本機をパソコンに接続する」参照

原　因	パソコンからの電源供給が不十分
解決方法	USBハブを利用している場合は、パソコン本体のUSBポートと本機を接続してください。または、パソコン本体に複数USBポートがある場合は、他のポートに接続してください。 69ページ「本機をパソコンに接続する」参照

原　因	ネットワークドライブが割り当てられている
解決方法	ネットワークドライブが割り当てられていると、ドライブレター(ドライブ名を表すアルファベット)がぶつかり、リムーバブルディスクが作成されない場合があるので、ネットワークドライブの割り当てを変更してから再度接続してください。ネットワークドライブの割り当てについてはネットワーク管理者などにお聞きください。

音声ガイドが使用できない

原　　因	BEEP音設定が音声ガイドになっていない
解決方法	メニューモードからBEEP音設定で音声ガイドを選択設定してください。 60ページ「各種メニューの設定-BEEP音設定」参照

FM放送が受信(録音)できない

原　　因	ヘッドホン(アンテナ兼用)が差し込まれていない
解決方法	本機のヘッドホン端子に付属のステレオヘッドホンを差し込んでください。

FM放送のユーザプリセット局を追加(記憶)できない

原　　因	メモリ残容量が不足している
解決方法	不要な音声データを削除するなどしてメモリ残容量を増やしてください。

パソコンから本機へのデータの転送速度が遅い

解決方法	本機の電源を入れ直してください。 本機のフォーマットをしてください。 49ページ「全データを消去する」参照

"ファイルシステムが壊れています"と表示されて動作できない

原　　因	FAT管理システムのエラー
解決方法	内蔵メモリのフォーマット(初期化)を行なってください。 49ページ「全データを消去する」参照

パソコン接続に関する内容は、当社ホームページのサポートページ "http://www.sanyo-audio.com/icr/" をご覧ください。

お手入れについて

お手入れ

柔らかい布でふいてください。汚れがひどいときは、柔らかい布でからぶきをしてください。

- ベンジンやアルコール、シンナーなどでふいたりしますと、変質、変色することがありますので使用しないでください。また、殺虫剤もかからないようにご注意ください。

温度上昇について

本機を長時間お使いになると、本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。

主な仕様

内蔵メモリ	：128MB
対応OS	：Windows XP/2000/ME/98/98SE
録音時間	：約2時間00分（HS時） 約4時間10分（HQ時） 約8時間30分（SP時） 約17時間10分（LP時）
録再周波数特性	：100～7.5kHz（HS時） 100～7kHz（HQ時） 100～4kHz（SP時） 100～4kHz（LP時）
録音フォーマット	：MP3形式
再生フォーマット	：MP3、WMA形式
再生周波数	：20～20kHz
サンプリング周波数	：16～44.1kHz
再生対応ビットレート	：16～192kbps（MP3）、 32～160kbps（WMA）
チューナー部受信周波数	：FM 76～90MHz、TV 1～3ch
S/N比	：82dB
入出力端子	：USB ステレオヘッドホン3.5φミニ ステレオ外部マイク
動作温度	：＋5℃～＋35℃
定格出力（ヘッドホン）	：8.5mW+8.5mW(16Ω負荷時、JEITA/DC)
電源	：単4形アルカリ乾電池×2本
電池持続時間 （JEITA）	：アルカリ乾電池　約12時間（連続録音時間） アルカリ乾電池　約12時間（スピーカー再生時 連続再生時間） ※連続録音再生時間は、電池の種類、メーカー、保管状態、使用条件、使用周囲温度などによって変わります。上記の時間はあくまで目安であり、保証するものではありません。
最大外形寸法	：幅29.2×高さ117.6×奥行き14.5/16.7（スピーカー部）mm
質量	：約56g（電池含む）
付属品	：単4形アルカリ乾電池 (2) 専用USB接続ケーブル (1) インナーイヤー型ステレオヘッドホン (1) (FMアンテナ兼用) 本書（保証書付） (1) 基本操作ガイド (1)

※本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書について

- この商品には保証書がついています。お買い上げの際、販売店が発行します。
- 所定事項の記入をご確認のうえ内容をよくお読みになって、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より**1年間**です。

保証書について

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書の84ページからをもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店か、または「お客さまご相談窓口」にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の規定に従い、お買い上げの販売店が修理させていただきます。製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間経過後の修理は

修理により機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。

部品の保有期間について

ステレオデジタルボイスレコーダの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)の保有期間は、製造打ち切り後6年間です。この期間は経済産業省の指導によるものです。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店または「お客さまご相談窓口」にご相談ください。

お客さまご相談窓口

まずはお買い上げ販売店へ

家電製品についてのご相談や修理のご依頼は、お買い上げ販売店へお申し出ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は

下記の相談窓口にお問い合わせください。
総合相談窓口：家電製品についての全般的なご相談
修理相談窓口：修理サービスについてのご相談

総合相談窓口

北海道地区	札幌	☎ (011)290-1522
東北地区	仙台	☎ (022)714-6137
関東地区	東京	☎ (03)3815-1111
中部・北陸地区	名古屋	☎ (052)533-5245
近畿・四国地区	大阪	☎ (06)6994-9570
中国地区	広島	☎ (082)297-6067
九州・沖縄地区	福岡	☎ (092)263-7629

受付時間　9:00～17:00
（1月1日～3日は休ませていただきます）

郵便・FAXでご相談される場合は

● **三洋電機（株）お客さまセンター**
〒570-8677　大阪府守口市京阪本通2-5-5
FAX (06)6994-9510

上記のお客さまご相談窓口の名称、電話番号は、変更することがありますのでご了承ください。

修理相談窓口　三洋コンシューママーケティング(株)

受付時間　9:00～18:30[月曜日～金曜日]
9:00～17:30[土曜・日曜・祝日]

出張修理のご依頼　その他の修理相談窓口

東日本コールセンター　東京 ☎ (03)5302-3401
西日本コールセンター　大阪 ☎ (06)4250-8400

関東・首都圏および近畿地区以外にお住まいのお客さまは、下記の電話をご利用いただけます。

東日本コールセンターへの転送電話番号

北海道地区	札　幌	☎ (011)833-7888
東北地区	仙　台	☎ (022)382-2213
長野地区	長　野	☎ (0263)26-1772
新潟地区	新　潟	☎ (025)285-2451
福島地区	福　島	☎ (024)945-6811

西日本コールセンターへの転送電話番号

北陸地区	金　沢	☎ (076)237-6650
東海地区	名古屋	☎ (052)459-3456
中国地区	広　島	☎ (082)293-9333
四国地区	高　松	☎ (087)844-8321
九州地区	福　岡	☎ (092)922-6111

沖縄地区　沖　縄 ☎ (098)944-5018
受付時間：月曜日～土曜日
9:00～12:00、13:00～17:30
[日曜、祝日および当社休日を除く]

「持込修理および部品」についてのご相談は、各地区サービスセンターで承っております。
受付時間:月曜日～土曜日(祝日を除く) 9:00～17:30

北　海　道　地　区

[北海道]

札　幌	(011)831-9201	〒003-0013	札幌市白石区中央三条4-1-36
函　館	(0138)48-8301	〒041-0824	函館市西桔梗589-295
苫小牧	(0144)33-3421	〒053-0042	苫小牧市三光町2-2-5
旭　川	(0166)22-2421	〒070-0073	旭川市曙北3条7-3-3
北　見	(0157)23-4871	〒090-0037	北見市山下町4-7-14
釧　路	(0154)22-1576	〒085-0021	釧路市浪花町7-7

東　北　地　区

[宮城県]

仙　台	(022)384-0444	〒981-1225	名取市飯野坂3-4-8

[青森県]

青　森	(017)729-3401	〒030-0141	青森市大字上野字山辺29-5
八　戸	(0178)28-9225	〒039-1103	八戸市長苗代字観音堂50-5

[岩手県]

盛　岡	(019)635-0136	〒020-0863	盛岡市南仙北1-13-6
水　沢	(0197)23-6621	〒023-0003	水沢市佐倉河字羽黒田45

[山形県]

山　形	(023)641-1769	〒990-2432	山形市荒楯町1-21-30
酒　田	(0234)23-3817	〒998-0842	酒田市亀ケ崎6-7-16

[秋田県]

秋　田	(018)862-6551	〒010-0925	秋田市旭南3-2-67

[福島県]

郡　山	(024)945-6793	〒963-0111	郡山市安積町荒井字戸蘭塔1-7

関　東・甲　信　越　地　区

[埼玉県]

さいたま	(048)664-2319	〒330-0812	さいたま市北区宮原町1-30
坂　戸	(049)284-8900	〒350-0214	坂戸市千代田5-3-17

[栃木県]

栃　木	(028)653-2811	〒321-0106	宇都宮市上横田町1302-12

関東・甲信越地区(つづき)

[茨城県]

茨 城	(0298)64-4751	〒300-3261	つくば市花畑2-15-3
水 戸	(029)251-4125	〒311-4152	水戸市河和田3-2386-1

[群馬県]

群 馬	(027)362-1151	〒370-0001	高崎市中尾町池の内441
西関東	(0276)22-7702	〒373-0015	太田市東新町72-2

[新潟県]

新 潟	(025)285-2431	〒950-0971	新潟市近江244
長 岡	(0258)24-0705	〒940-0029	長岡市東蔵王2-3-46
上 越	(0255)43-3535	〒942-0074	上越市石橋2-2-9

[東京都]

城 東	(03)3607-3191	〒125-0051	葛飾区新宿4-10-15
城 北	(03)3958-1261	〒173-0021	板橋区弥生町72-5
城 西	(03)3376-3361	〒151-0073	渋谷区笹塚3-1-13
武蔵野	(042)364-7721	〒183-0045	府中市美好町2-3-1

[神奈川県]

戸 塚	(045)827-2831	〒224-0806	横浜市戸塚区上品濃9-14
相模原	(042)742-2272	〒228-0805	相模原市豊町17-11
平 塚	(0463)55-3926	〒254-0014	平塚市四之宮5-10-4

[千葉県]

千 葉	(043)241-7311	〒260-0025	千葉市中央区問屋町5-20
鎌ヶ谷	(047)441-0111	〒273-0105	鎌ヶ谷市鎌ヶ谷7-6-59

[山梨県]

山 梨	(055)226-2561	〒400-0035	甲府市飯田4-8-23

中部地区

[愛知県]

名古屋	(052) 451-3161	〒453-0804	名古屋市中村区黄金通5-10
岡 崎	(0564)23-3418	〒444-0065	岡崎市柿田町1-2

[岐阜県]

岐 阜	(058)246-3417	〒501-6006	羽島郡岐南町伏屋1-35

[静岡県]

静 岡	(054)261-4151	〒420-0813	静岡市長沼885
沼 津	(055)963-1000	〒410-0861	沼津市真砂町3-1
浜 松	(053)461-8685	〒435-0016	浜松市和田町795-2

中　部　地　区（つづき）

[長野県]

松　本　(0263)26-1107　〒390-0835　松本市高宮東1-35
長　野　(026)299-9501　〒388-8006　長野市篠ノ井御幣川字東松島1000-2

[石川県]

金　沢　(076)237-7811　〒920-0062　金沢市割出町627

[富山県]

富　山　(076)422-7020　〒939-8211　富山市二口町1-13-8

[福井県]

福　井　(0776)22-6082　〒918-8231　福井市問屋町1-17

[三重県]

三　重　(059)228-8126　〒514-0838　津市岩田町10-3

近　畿　地　区

[大阪府]

大　阪　(06)6992-6235　〒570-0086　守口市竹町4-13
大阪南　(06)6761-4600　〒543-0001　大阪市天王寺区上本町5-1-14　三洋ビル2F
大阪東　(0729)65-1811　〒578-0903　東大阪市今米2-3-29
阪　和　(072)221-8571　〒590-0959　堺市大町西3-1-16

[京都府]

京　都　(075)672-0877　〒601-8102　京都市南区上鳥羽菅田町41
三　丹　(0773)27-3458　〒620-0856　福知山市土師宮町1-66

[奈良県]

奈　良　(0744)22-7888　〒634-0837　橿原市曲川町7-1-31

[滋賀県]

滋　賀　(077)545-4221　〒520-2134　大津市瀬田1-1-5

[和歌山県]

和歌山　(073)436-3110　〒641-0006　和歌山市中島369
田　辺　(0739)22-7520　〒646-0051　田辺市稲成町南江原318

[兵庫県]

神　戸　(078)651-3951　〒652-0897　神戸市兵庫区駅南通2-1-11
阪　神　(06)6432-3401　〒661-0026　尼崎市水堂町4-17-6
姫　路　(0792)96-2141　〒670-0981　姫路市西庄字八町108
淡　路　(0799)22-2702　〒656-0101　洲本市納字横竹308-1

中　国　地　区

[広島県]

広　島	(082)293-6511	〒733-0012	広島市西区中広町3-17-5
福　山	(084)925-3455	〒720-0077	福山市南本庄3-1-48

[岡山県]

岡　山	(086)245-1634	〒700-0973	岡山市下中野703-101
津　山	(0868)22-6133	〒708-0002	津山市上河原239-10

[鳥取県]

鳥　取	(0857)24-2930	〒680-0843	鳥取市南吉方3-107

[島根県]

浜　田	(0855)22-7883	〒697-0023	浜田市長沢町3049
松　江	(0852)23-1183	〒690-0017	松江市西津田4-1-14

[山口県]

山　口	(083)973-3391	〒754-0024	吉敷郡小郡町若草町2-6

四　国　地　区

[愛媛県]

愛　媛	(089)971-3342	〒791-8036	松山市高岡町148-1
宇和島	(0895)27-1818	〒798-0077	宇和島市保田甲934-3

[香川県]

香　川	(087)843-1840	〒761-0104	高松市高松町2175-10

[高知県]

高　知	(088)860-0229	〒781-5106	高知市介良乙1044

[徳島県]

徳　島	(088)699-4131	〒771-0219	板野郡松茂町笹木野字八北開拓 150-2

九　州　地　区

[福岡県]

福　岡	(092)928-3414	〒818-8534	筑紫野市紫6-1-1
北九州	(093)521-5286	〒802-0023	北九州市小倉北区下富野2-10-28
中九州	(0942)21-3534	〒830-0052	久留米市上津町字赤坂1890-2

[長崎県]

長　崎	(095)824-5628	〒850-0012	長崎市本河内3-21-43
佐世保	(0956)31-7635	〒857-1162	佐世保市卸本町17-1

九　州　地　区（つづき）

[熊本県]

熊　本　(096)357-1122　〒861-4106　熊本市南高江町3-2-88

八　代　(0965)35-3483　〒866-0871　八代市田中東町12-7

[大分県]

大　分　(097)543-3454　〒870-0822　大分市大道町3-4-32

[宮崎県]

宮　崎　(0985)29-3441　〒880-0036　宮崎市花ケ島町観音免883

[鹿児島県]

鹿児島　(099)251-4615　〒890-0068　鹿児島市東郡元町11-10

沖　縄　地　区

[沖縄県]

沖　縄　(098)944-5018　〒903-0103　中頭郡西原町小那覇1303
沖縄三洋販売(株)サービス部

(290304B)

住所、電話番号は、ご通知なしに変更することがありますので、ご了承ください。

無料修理規定

お買い上げの日から保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルその他の注意書きに従った使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき、お買い上げの販売店が無料修理いたしますので、商品と本書をご持参ご提示ください。

1. 保証期間でも次のような場合には有料修理となります。
   イ. 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
   ロ. お買い上げ後の取り付け場所の移動、落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
   ハ. 火災・地震・水害・落雷・その他の天変地異ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
   ニ. 取扱説明書に記載されている使用条件以外で使用した場合の故障または損傷。
   ホ. 本書の提示がない場合。
   ヘ. 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
   ト. 消耗品の交換・仕様変更など。
2. 保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料や出張修理をおこなった場合の出張料はお客さまの負担となります。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品等で本書に記入の販売店に修理をご依頼になれない場合には、「お客様ご相談窓口」をご覧のうえ、もよりの窓口にお問い合わせください。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   Effective only in Japan.
6. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明な場合は、お買い上げの販売店または「お客さまご相談窓口」にお問い合わせください。

● 保証期間が経過した後の修理についての詳細は「保証書とアフターサービス」の項をご覧ください。